

社会福祉法人ことぶき令和2年度事業報告書

1. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

区分	開催日	出席人数	監事	議案
第1回	2. 6. 17	9名	2名	① 令和元年度事業報告及び計算書類等の承認について ② 理事候補者の選任について ③ 定時評議員会招集について
第2回	2. 11. 18	8名	2名	① 上半期理事長及び業務執行理事の職務執行状況について ② 上半期事業活動収支状況について ③ 新型コロナウイルス感染症対策について
第3回	3. 03. 24	9名	1名	① 補正予算の承認について ② 令和3年度事業計画及び収支予算の承認について

(2) 評議員会の開催状況

区分	開催日	出席人数	監事	議案
定時	2. 07. 01	9名	2名	① 令和元年度事業報告について（報告） ② 令和元年度計算書類等の承認について ③ 理事の選任について

2. 職員状況

(1) 退職者 9 名

- 介護老人福祉施設：介護士（正規職員 5 名、時間給制準職員 2 名）、
清掃員（時間給制準職員 2 名）

【退職理由】 定年退職 2 名、転職 5 名、家庭の事情 2 名

(2) 採用者 6 名

- 介護老人福祉施設：介護士（正規職員 5 名／介護福祉士 3 名、実務者研修 1 名）
清掃員（時間給制準職員 1 名、派遣職員 1 名）

※ 年度内入退職者介護士 3 名（6 か月、2 か月、4 か月）

3. 防災対策・設備管理等

(1) 消防訓練の実施 7 月 31 日 夜間想定 10 月 7 日 昼間想定

(2) 設備点検の実施 灯油地下タンク、電気、EV、給湯、浄化槽、消防設備等

4. 寄付受入れ状況

月	寄付内容	氏名又は団体名
4 月	不織布マスク 500 枚	エムアイ水研
5 月	手作りマスク 137 枚	伊勢崎友の会
6 月	不織布マスク 500 枚	GUN-T E E
9 月	商品券（10,000 円）	特養入所者ご家族

5. 健康管理

(1) 入所者（入居者）

- 6 月～7 月 後期高齢者健診 7 月 30 日 結核健康診断（胸部レントゲン）

(2) 職員

- 6 月 12 日 全職員対象定期健康診断及びストレスチェック
（介護職員は腰痛健診実施）／伊勢崎佐波医師会病院検診センター）
- 12 月 8 日～16 日 介護老人福祉施設常勤介護士健康診断／山田内科クリニック

6. 主な設備、備品等購入

【総額】 12,813,000円

内 容	事業種別	金 額
廊下等照明LED工事	全事業所	3,000,000円
冷凍冷蔵庫・検食用冷凍庫	介護老人福祉施設	550,000円
食堂ホール床改修工事	介護老人福祉施設 通所介護	2,200,000円
送迎車両更新（タンク）	通所介護	1,500,000円
利用者トイレ改修工事	通所介護	500,000円
液晶テレビ等更新	ケアハウス	220,000円
空気清浄機	全事業所	575,000円
食器・包丁まな板消毒保管庫	介護老人福祉施設	1,738,000円
液晶テレビ等更新	介護老人福祉施設	300,000円
オンライン面会用パソコン	介護老人福祉施設	360,000円
感染症対策備品保管庫	介護老人福祉施設	430,000円
食堂放送設備更新工事	介護老人福祉施設	550,000円
ダイルームテーブル椅子更新	通所介護	890,000円

※予定していた第4期ベッド更新事業は延期

※ は当初の事業計画にはなく新型コロナウイルス感染症関連補助金使用

7. 事故発生状況 53件（前年比+6）

事業所	転倒転落	誤 嚥	介護ミス	その他	計
介護老人福祉施設	21	0	2	2	25(-1)
ケ ア ハ ウ ス	3	0	0	0	3(+3)
通 所 介 護	14	0	2	5	21(+5)
訪 問 介 護	0	0	0	0	0(±0)
短期入所生活介護	4	0	0	0	4(±0)

《骨折等重大事故の概要》4件（前年比+2）

▶ ケアハウス 95歳男性・要支援1 左大腿骨頸部骨折

昼食時、食堂にて着座しようとして歩行器から移る際に転倒、足が痛いとのことで直ちに整形外科を受診し左大腿骨頸部骨折と診断される。その後別の病院にて手術し入院治療するも車椅子での生活となったため退居となる。レンタルが開始されたばかりで歩行器の操作に慣れていなかったことが原因と考えられる。現在は介護付き有料老人ホームに入所中。

▶ 介護老人福祉施設 85歳女性・要介護度5 右大腿骨頸部骨折

重度の認知症があり自力歩行可能な方であったが、足の痛みを訴えたり足をさする姿が頻繁に見られるようになったため受診、右大腿骨頸部骨折の診断を受ける。家族の意向で施設での保存療法となり、現在は治療は終了したが車椅子での生活となっている。原因は特定できていないが、徘徊傾向の強い方のため歩行中の転倒が推測される。

▶ ケアハウス 71歳女性・要支援2 腰椎圧迫骨折

深夜洗面所へ移動する際に転倒、胸部の痛みの訴え強く救急車にて受診し腰部圧迫骨折と診断され入院となる。2週間の治療の後退院し現在も安静にしながら通院治療を継続している。

▶ 介護老人福祉施設 90歳男性 要介護5 左前腕橈骨骨折

10時のおやつのため訪室し食堂に誘導する際に左手首周囲に腫脹を発見するも痛みの訴えはなく、そのまま入浴するが前腕部にも内出血が見られたため受診、左前腕橈骨骨折と診断される。シーネ固定のうえ施設にて保存療法となる。全介助対象者のため介助中に無理な力が加わってしまった可能性が高く、本人及び家族に経過を説明し謝罪する。

8. 苦情対応状況

0件（前年比-2）

9. 利用者状況

事業所	延利用人数	一日平均	稼働率	平均介護度
介護老人福祉施設	17,792 人 (-14)	48.7 人 (±0)	97% (-1)	4.5 (+0.2)
ケアハウス	4,888 人 (-147)	13.4 人 (-0.4)	89% (-3)	0.8 (+0.3)
通所介護	6,000 人 (-1064)	19.6 人 (-4.2)	56% (-7)	2.0 (±0)
訪問介護	2,326 件 (-810)	7.5 件 (-2.6)	—	1.4 (+0.4)
短期入所生活介護	2,661 人 (-515)	7.3 人 (-1.4)	73% (-4)	3.1 (±0)
居宅介護支援	1,531 人 (-159)	月 127.5 人 (-13.3)	—	1.89 (+0.12)

10. 職員研修実施状況

(1) 施設外研修

開催月	事業所	研修内容	開催方法
10・11月	居宅介護	介護支援専門員研修会	集合
11月	居宅介護	介護関係職種のための口腔機能管理	オンライン
11月	介護老人	施設ケアマネの役割	オンライン
12月	介護老人	新型コロナ応援職員派遣支援事業研修会	集合
12月	通所介護	県社協新任職員研修	オンライン
2月	介護老人	介護ロボットフォーラム2020	オンライン
2・3月	居宅介護	合同事例検討研修会(全3回)	オンライン
3月	訪問介護	地域住民に必要な移動・外出について	動画配信
3月	訪問介護	介護報酬改定の理解とサービスの対応	動画配信
3月	介護老人	福祉サービス苦情解決セミナー	動画配信

(2) 施設内研修

月	介護老人福祉 短期入所生活	ケアハウス	通所介護	訪問介護	居宅介護支援
4月	喀痰吸引及び 緊急時対応	リスクマネジ メント①	倫理及び 法令遵守	倫理及び 法令遵守	
5月	倫理規程及び 法令遵守	新型コロナ感 染症予防	認知機能向上 のためのレク	マナーアップ	
6月	食中毒予防	身体拘束 ZERO	接遇	苦情対応	倫理及び法令 遵守
7月	リスクマネジ メント①	倫理及び 法令遵守	介護技術	感染症対策	プライバシー 保護
8月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待①	苦情対応	非常災害時の 対応	モチベーショ ン向上	
9月	褥瘡予防	高齢者虐待防 止	食中毒・感染 症予防	認知症ケア	虐待防止
10月	苦情処理	リスクマネジ メント②	リハビリ	高齢期の身体 と疾病の理解	感染症予防
11月	感染症予防	認知症及び認 知症ケア	認知機能向上 レク	リスクマネジ メント	認知症及び認 知症ケア
12月	看取り介護	食中毒及び 感染症予防	身体拘束・高 齢者虐待防止	緊急時対応	
1月	リスクマネジ メント②	身体拘束・高 齢者虐待防止	個人情報プラ イバシー保護	プライバシー 保護	居宅介護支援
2月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待②	個人情報プラ イバシー保護	リスクマネジ メント	高齢者虐待予 防	
3月	新年度に向け ての業務改善	サービス向上	サービス向上 への取組み	事業所及び自 己評価	

11. ボランティア及び実習生受入状況

(1) ボランティア（入居者・利用者との接触なし）

- 伊勢崎興陽高校 花と緑で環境を創る系列2年生 花壇の植栽 6月、11月
- ケアハウス 市立第三中学校地域奉仕団1名 創作品の受領（計5回）

(2) 実習生

- 介護老人福祉施設 東京福祉大学 介護実習 1名

12. 事業所別総括

(1) 介護老人福祉施設

- 【入所】12名（+7）【退所】12名（+7）

新型コロナウイルス感染症の影響で、思うように家族の協力が得られない中、7名の方の看取り介護が行われた。家族との面会も特別に配慮し、慣れ親しんだ施設でスタッフに見守られながら自然な形でお見送りすることができた。また入所中にADLの回復が著しく、ご本人の自立意欲も強かった方の在宅復帰が実現している。家族の協力が必須であるが、重度化が進む特養では珍しい事例となった。

(2) ケアハウス

- 入退居状況【入居】2名（-4）【退居】2名（-4）

コロナ禍で面会・外出が制限され自粛生活が続く中、施設内でいかに充実した生活をしていただけるかが課題となる一年となった。レクリエーションや調理教室など三密に注意しながらの実施となったが、入居者の皆様の反応も良く今後も工夫を加えながら継続していきたい。また骨折事故が2件発生したことに関しても、しっかりと事故分析を行い再発防止に努めたい。

(3) 通所介護

- 利用者状況 【新規】16名（-6）【終了】26名（+6）

市内高齢者施設でのクラスター発生で、4月中旬より4日間の休業、更には17日間の時短営業と対応に迫られ、利用控えという新たな問題も重なって、この一年実績が大きく落ち込んでしまった。この間手指消毒・マスク着用の徹底、個別テーブルや空気清浄機の導入、密にならない送迎等の工夫で、利用者に安心安全なサービス

ス提供ができるよう万全な受け入れ体制づくりに努めている。

(4) 訪問介護

➤ 利用者状況 【新規】 11名 (+4) 【終了】 12名 (+3)

派遣先の関連施設でクラスターが発生し、2か月にわたり派遣中止が続くなど年度当初よりコロナの影響を受け、加えて複数回利用者の入院や入所により実績低迷が目立つ一年となってしまった。この間、法人内の介護老人福祉施設での研修を取り入れ、入浴介助や排泄介助等の身体介護のスキルアップが図れたことは大きな収穫となっている。

(5) 短期入所生活介護

➤ 利用者状況 【新規】 15名 (+3) 【終了】 12名 (-3)

新型コロナの感染防止対策として、入所時の健康チェックや家族状況の聞き取り等を強化し、一時は新規の受入れや他事業所との併用者の利用を控えるなど、万全な体制で取り組んできた。そのため実績は若干下がってしまったが、感染者や骨折事故を一人も出すことなく無事に一年を終えることができたことを評価したい。

(6) 居宅介護支援事業

➤ 利用者状況 【新規】 26名 (-12) 【終了】 32名 (-4)

新型コロナ感染症の蔓延予防により、年度当初から訪問自粛や集合事業の中止が相次ぎ、地域においてもミニデイや老人会の活動休止など、高齢者の状態把握や介護予防活動が極めて困難な一年となってしまった。そんな中でも電話での安否確認や「おたっしやクラブだより」の発行等で孤立防止に努め、また自粛生活で不自由な思いをしないよう適切なサービス提供につなげている。

13. 令和2年度事業報告附属明細書について

令和2年度事業報告で、社会福祉法第45条の27第2項の規定により作成する事業報告の附属明細書は、社会福祉法施行規則第2条の25第3項で規定する事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していない。